

1 ものづくり

（京都市都市計画マスタープランにおける考え方）

ものづくり産業の重要な基盤となる工業の集積地や知恵産業の創出にも貢献する研究開発拠点においては、国際競争力を高める環境整備やものづくり都市を支える活力ある工業地の形成、企業立地支援を行うため、操業環境の保全・向上や生産機能の高度化への対応、周辺環境の整備改善・誘導等を図ります。

○エリア別の方向性（駅に近接するものに限る。）

- ・西部工業地域 ものづくり都市として重要な基盤となる工業を中心とする地域では、拠点づくりのため、工場の操業環境の創出を図る。
- ・らくなん進都 安全・快適で魅力的な都市環境の創出や利便性の高い公共交通体系の整備、低炭素型のまちづくり等を進めながら、国内外の最先端のものづくり企業の生産・本社・研究開発・業務・流通機能の集積を図る地域。

2 観光・サービス

（京都市都市計画マスタープランにおける考え方）

世界に誇る京都ならではの歴史・文化資源を活用し、観光の質を向上させ新たな京都の魅力向上を図るため、自然・歴史・文化資源の保全、伝統産業や観光、商業サービス機能等の充実を誘導します。

○エリア別の方向性（駅に近接するものに限る。）

- ・嵐山周辺地域 周囲の住環境に配慮しつつ、観光地にふさわしい観光、商業サービス機能の誘導を図る。
- ・岡崎地域 ゆとりある環境の保全に配慮しつつ、京都会館等のM I C E機能・国際交流機能の充実や、京都市動物園などのレクリエーション機能、京都市美術館などの文化機能の充実を図るとともに、再生可能エネルギーの活用や省エネルギー化の促進など、環境モデル都市を牽引する取組を進める。
- ・祇園界わい 歴史環境に配慮した京都らしい商業サービス機能の充実を図る。

3 文化・交流

（京都市都市計画マスタープランにおける考え方）

周辺市街地の土地利用や市街地環境等に留意しながら、文化機能や、観光・娯楽・レクリエーション等をはじめとする交流機能の向上を誘導します。

○エリア別の方向性（駅に近接するものに限る。）

- ・国際会館周辺地域 周辺環境に配慮しつつ、M I C E機能・国際交流機能の充実を図る。
- ・梅小路周辺地域 交流の拠点となるよう、再整備を進めている梅小路公園をはじめ、中央卸売市場第一市場、周辺商店街、京都リサーチパークなどを地域活性化の施設の核として、周辺地域全体の活性化を推進する。
- ・北山駅周辺地域 文化芸術都市の創生のため、地域文化会館等について、必要な施設整備等を進め、活性化を推進する。
- ・太秦周辺地域 情報発信機能の充実など、地域資源をいかしたレクリエーション機能の充実を図る。

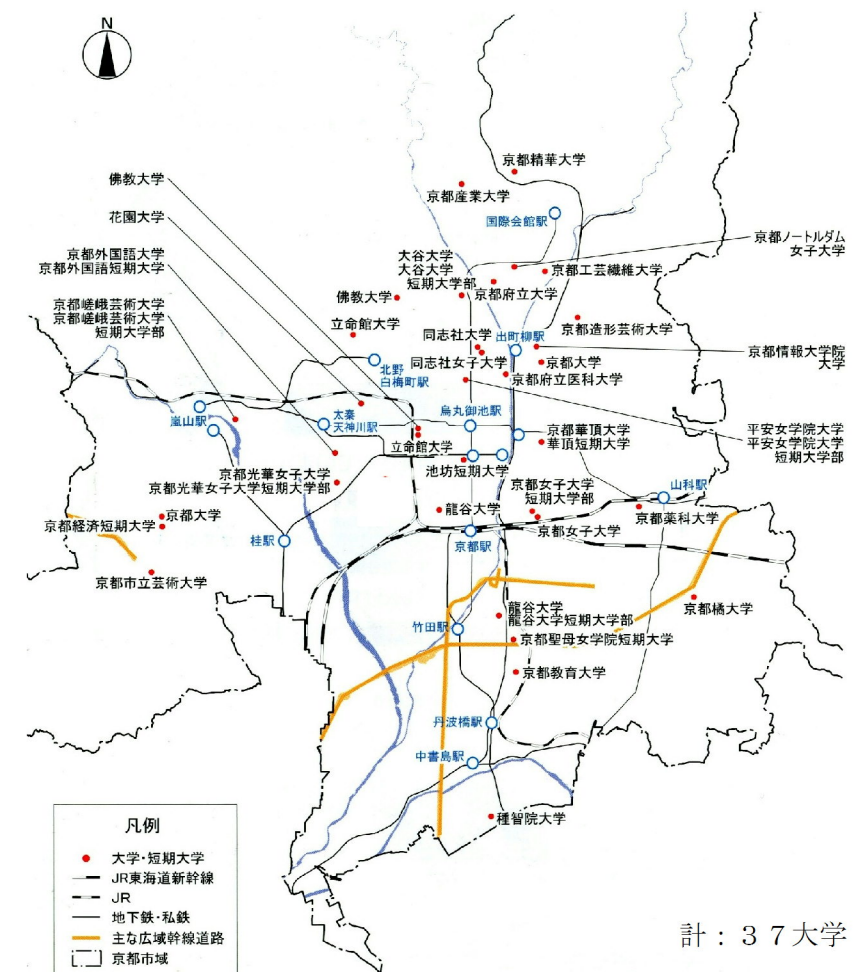
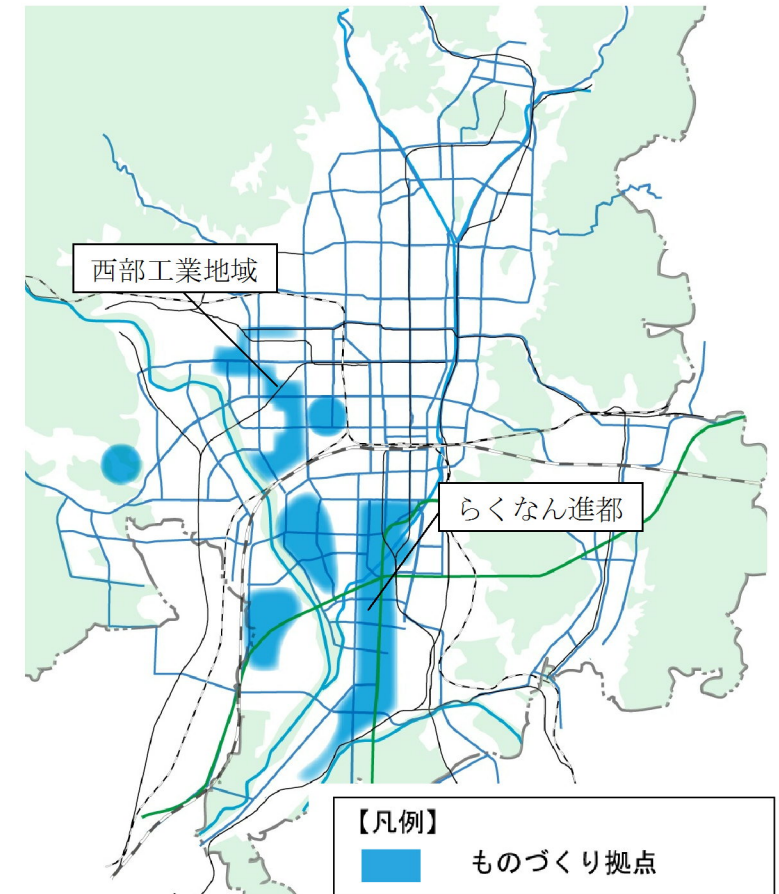
4 大学・研究機関

（京都市都市計画マスタープランにおける考え方）

大学や研究所等が有する学術研究機能については、公共交通ネットワークや産業とのつながりを重視し、その機能の充実を誘導します。また、周辺生活環境との調和を図りつつ、学術研究機能と地域とが共存したまちづくりを促進します。

○エリア別の方向性（駅に近接するものに限る。）

- ・山ノ内浄水場跡地 大学を核とした拠点の形成を図る。



計：37大学

本市の活力・魅力につながる地域（駅周辺）
（京都市都市計画マスタープラン等）

資料5 <別紙>

【凡 例】

- ：都市計画マスタープランにおいて記載がある地域・エリア周辺の駅
- ：京都市内の大学施設位置図（37施設）
- JR 鉄道路線 — 高速道路
- JR 以外の鉄道路線 □ 市街化区域

